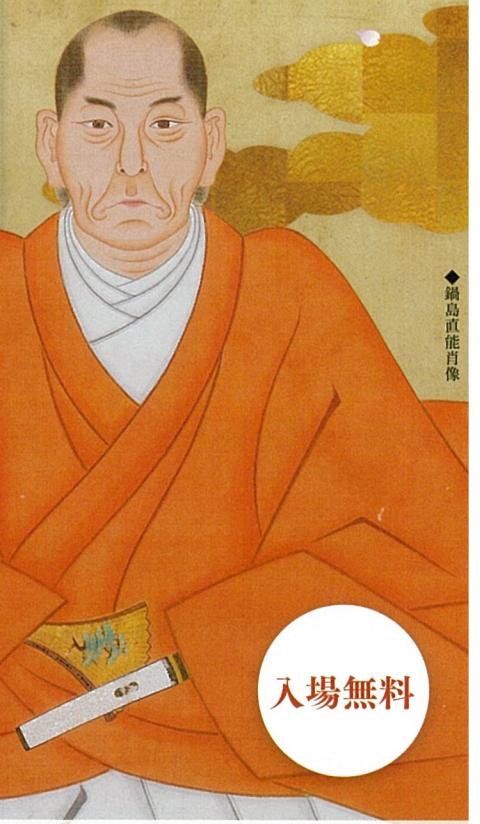


岡花

新院御飯

まちわくまくもよひの葉、

はとたかくもよひの葉、



入場無料

小城藩と和歌

直能公自筆「岡花二十首和歌」の里帰り

平成25年度 佐賀大学・小城市交流事業特別展



◆居色八角貝桶角取り杏葉紋
〔佐賀県立博物館蔵〕

10月5日(土)～11月10日(日)

平成25年

小城市立歴史資料館 企画展示室

開館時間 9時～17時 [休館日] 毎週月曜日・10月15日(火)

主催 佐賀大学地域学歴史文化研究センター・小城市

問合せ先

小城市立歴史資料館 TEL 0952-71-1132

◆関連行事

記念講演会 14時～15時30分 参加自由・資料代100円 (於:歴史資料館研修室) *関連行事参加の方は、車は小城公園駐車場をご利用ください。

10月5日(土)

「小城文庫本十帖源氏について」

講師 | 白石 良夫氏 (佐賀大学教授)

10月26日(土)

「小城鍋島家の和歌と宮廷歌壇」

講師 | 久保田 啓一氏 (広島大学教授)

11月2日(土)

「直能公の和歌」

講師 | 井上 敏幸氏 (佐賀大学名誉教授)

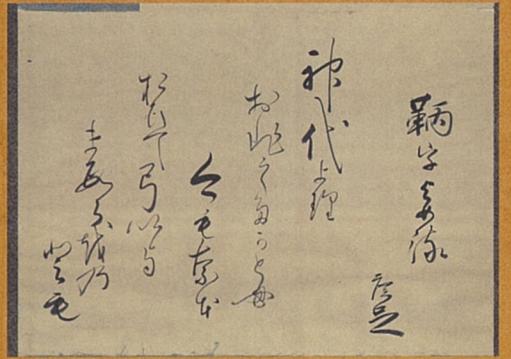
史跡探訪会 9時30分 展示室前集合 16時帰着予定 定員35名・参加費1,500円 (昼食代等)

11月3日(祝・日) 佐賀大学小城鍋島文庫、佐賀大学美術館を見学し、小城市内和歌、短歌の史跡を巡ります。案内 | 小城郷土史研究会

要予約

小城藩と和歌

～直能公自筆『岡花二十首和歌』の里帰り～



◆中島広足和歌

現在、桜の名所として小城市民の憩いの場になっている小城公園は、かつて桜岡と呼ばれた歴代藩主の庭園でした。延宝3年(1675)に二代藩主鍋島直能は、桜岡を題材にした和歌を後西天皇から賜わり、さらに親王や公卿たちから和歌を募りました。和歌を飛鳥井雅章に学び、坊城俊完の息女を正室にもつ直能の華やかな交際ぶりをうかがわせるものです。

本展示会では、佐賀大学が所蔵する小城鍋島文庫や小城市立歴史資料館所蔵の和歌関連資料を展示し、佐賀藩の分家である小城藩小城に蓄積された伝統文化の粋を紹介いたします。

◆展示構成

- I | 小城藩の和歌
- II | 小城藩と堂上派歌壇
- III | 王朝文学の世界
- IV | 幕末古学派の和学

◆主な展示資料

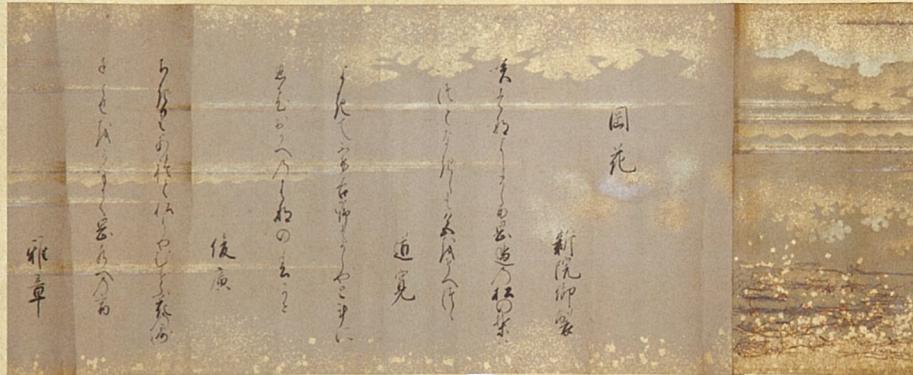
岡花二十首和歌、八重一重、直能和歌、続田心和歌集、桜のひこばえ、三体和歌、禁裏法皇和歌御会、十帖源氏、枕草子、千種有功和歌、中島広足和歌、今泉蟹守門人短冊帖



◎JR唐津線小城駅より徒歩5分
◎九州自動車道大和インターより唐津方面15分
◎九州自動車道多久インターより佐賀方面15分

小城市立歴史資料館

〒845-0001 佐賀県小城市小城町158-4 (桜城館内)
TEL 0952-71-1132 FAX 0952-71-1145



◆岡花二十首和歌



◆十帖源氏



◆鍋島直能和歌



◆鍋島直能和歌解説

「小城藩と和歌 -直能公自筆『岡花二十首和歌』の里帰り-」 記念短歌コンクール

募集内容 ①小学生の部、中高生の部、一般の部

- ②未発表作品1人3首以内、テーマ「秋」または「水」
- ③住所・氏名(ふりがな)電話番号を明記し官製はがきか、はがきサイズの用紙により提出してください。

賞 最優秀賞、優秀賞、佳作

応募方法 平成25年10月20日(日)までに郵送(必着)か展示室備え付けの応募箱にて応募してください。

展示会を記念して
短歌のコンクールを
開催します。